

株式會社
博文館印刷所

No. _____

二六四七一及東發部一六八・五八・四八・三八・二八川石小松電

議を囂したる事は世人の記憶に新たなるもの
として其の當時本會は同様の時の勢方々に順
應して起つべく週刊を共鳴を迫られたるも
本會は素より勞働員の協同を標榜する上から此の
爭議に雷同するの不得策なるを感知したる
勢の帰趨を極力善化し本會の主義を
母員に教めたる結果幸ひに時を未だに防遏し
會務と其の音動を避け一般經濟界の幸
福を計ると共に本會に對しては飽迄に善言を
を以て廉潔なるを欲し或る時は委員會制を
の實際に於ける組織を構成せられし事を本會